

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年04月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

最近の記事

- [\(04/11\)新型コロナワクチンの混合接種はミックス&マッチ](#)
- [\(04/09\)ペットから飼い主への細菌感染](#)
- [\(04/07\)HPV・子宮頸がんワクチン](#)
- [\(04/04\)小児及び青年のオミクロン株に対するワクチン効果](#)
- [\(04/04\)オミクロン株・BA-2のアジアにおける懸念](#)

最近のコメント

- [モデルナワクチンのプスター効果・その2](#) by (02/04)
- [5～11歳のファイザーワクチン接種・その1](#) by (01/23)
- [オミクロン株はバンデミックから季節性への始まりか?](#) by (01/11)
- [オミクロン株は軽症?](#) by (01/08)
- [血圧を上げる薬剤](#) by (12/12)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科\(216\)](#)
- [循環器\(239\)](#)
- [消化器・P.P.I.\(145\)](#)
- [感染症・衛生\(267\)](#)
- [糖尿病\(125\)](#)
- [喘息・呼吸器・アレルギー\(96\)](#)
- [インフルエンザ\(105\)](#)
- [肝臓・肝炎\(61\)](#)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(47\)](#)
- [脳・神経・精神・睡眠障害\(46\)](#)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症\(31\)](#)
- [ワクチン\(69\)](#)
- [癌関係\(11\)](#)
- [脂質異常\(28\)](#)
- [甲状腺・副甲状腺\(19\)](#)
- [婦人科\(9\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(39\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(22\)](#)
- [その他\(80\)](#)

過去ログ

- [2022年04月\(6\)](#)
- [2022年03月\(15\)](#)
- [2022年02月\(14\)](#)
- [2022年01月\(16\)](#)
- [2021年12月\(14\)](#)
- [2021年11月\(17\)](#)
- [2021年10月\(17\)](#)
- [2021年09月\(13\)](#)
- [2021年08月\(16\)](#)
- [2021年07月\(12\)](#)
- [2021年06月\(16\)](#)
- [2021年05月\(16\)](#)
- [2021年04月\(14\)](#)
- [2021年03月\(18\)](#)
- [2021年02月\(19\)](#)
- [2021年01月\(16\)](#)
- [2020年12月\(17\)](#)
- [2020年11月\(15\)](#)
- [2020年10月\(17\)](#)
- [2020年09月\(19\)](#)
- [2020年08月\(14\)](#)
- [2020年07月\(17\)](#)
- [2020年06月\(14\)](#)
- [2020年05月\(21\)](#)
- [2020年04月\(18\)](#)
- [2020年03月\(18\)](#)
- [2020年02月\(18\)](#)
- [2020年01月\(19\)](#)
- [2019年12月\(14\)](#)
- [2019年11月\(15\)](#)
- [2019年10月\(18\)](#)
- [2019年09月\(18\)](#)
- [2019年08月\(14\)](#)
- [2019年07月\(14\)](#)
- [2019年06月\(16\)](#)
- [2019年05月\(14\)](#)
- [2019年04月\(18\)](#)
- [2019年03月\(19\)](#)
- [2019年02月\(19\)](#)
- [2019年01月\(15\)](#)
- [2018年12月\(16\)](#)
- [2018年11月\(20\)](#)
- [2018年10月\(20\)](#)
- [2018年09月\(18\)](#)
- [2018年08月\(24\)](#)
- [2018年07月\(18\)](#)
- [2018年06月\(18\)](#)
- [2018年05月\(20\)](#)

[<< スタチン（脂質異常症治療薬）は高齢者に効果がない？ | TOP | インフルエンザは心筋梗塞を誘発する >>](#)

2018年01月30日

慢性腎疾患における高血圧治療の意義

慢性腎疾患における高血圧治療の意義

帝京；寺脇博之教授講演より



1月25日に五井グランドホテルで講演があったので、纏めてみました。

- 血液透析患者の、その当日の早朝血圧が心血管疾患と関連していた。
- 腹膜透析患者の心肥大は、早朝高血圧が深く関連していた。
- 慢性腎疾患（CKD）に白衣高血圧はあまり関係なく、仮面高血圧や持続性高血圧が関連していた。
その際に降圧剤を服用しているかは問題でなく、早朝血圧がコントロールされているかがCKDの予後に関連していた。
- 降圧剤を就寝前に服用する事は早朝高血圧の治療に効果があり、目付尿蛋白の抑制にもつながる。
その場合、夜間血圧の低下の心配はない。
(寺脇先生の説明では寝ている時は臥症であるから、就寝前での降圧剤の服用による血圧の変動の心配はなく、寧ろαブロッカー（カルデナリン）は日中の血圧変動があるので、就寝前の服用が大事な事。)
- 利尿剤の服用では、ループ利尿剤は交感神経を刺激する事があり注意が必要。
一般的にはサイアザイド系を用いる。
ARBの服用に関して腎機能の悪化が稀にあり、注意が必要。
(上記に関しては最近NEJMに利尿剤の総説が載っております。私のブログをご参照ください。
2017-11-24)

私見)

本院でも血圧のコントロールが不良の場合には降圧剤の就寝前服用を指導していますが、全ての降圧剤の服用を就寝前とする傾向のようです。
本院でもその方向にシフトしていこうと思っています。

[寺脇教授の講演.pdf](#)

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【循環器の最新記事】

血圧の強化療法は脳循環にとっても良好
脳卒中の残余リスクとしての中性脂肪・二次..
アスピリンの一次予防効果、高齢者
心不全にSGLT-2阻害薬は第一選択薬
降圧利尿剤は慢性腎臓病でも有効適応

posted by 齋賀一 at 20:56 | [Comment\(0\)](#) | [循環器](#)

この記事へのコメント

[2018年04月\(19\)](#)
[2018年03月\(20\)](#)
以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

